

平成 17 年 2 月 25 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 シ ー マ
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 白 石 幸 栄
 (J A S D A Q ・ コ ー ド 7 6 3 8)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 経 営 企 画 部 部 長 原 大 輔
 電 話 0 3 - 3 5 6 7 - 1 1 7 5

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 16 年 5 月 20 日付当社「平成 16 年度 3 月決算短信（連結）」及び同日付当社「平成 16 年 3 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 17 年 3 月期単独業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）
 （単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,000	800	440
今 回 発 表 修 正 (B)	7,000	428	224
増 減 額 (B - A)	1,000	372	216
増 減 率 (%)	12.5	46.5	49.1
(ご参考) 前 期 (平 成 16 年 3 月 期) 実 績	5,875	652	329

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 14 銭
 平成 17 年 3 月期予想配当 1株当たり 10 銭

2. 平成 17 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）
 （単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,000	800	440
今 回 発 表 修 正 (B)	7,000	410	188
増 減 額 (B - A)	1,000	390	252
増 減 率 (%)	12.5	48.8	57.3
(ご参考) 前 期 (平 成 16 年 3 月 期) 実 績	5,875	654	328

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 12 銭
 平成 17 年 3 月期予想配当 1株当たり 10 銭

3. 修正の理由

当期の業績予想数値である売上高 7,000 百万円に至った要因は、新規出店が予定数 11 店舗に対し 8 店舗にとどまり大都市圏（青山・大阪地区）への出店が当社条件に適する物件がなかったことにより見送られたこと（384 百万円）や、今期の新規出店時期の遅延等による見込差異（100 百万円見込）、西日本地区既存店舗の売上が低迷したこと（244 百万円見込）等の影響によるものです。

ただし、当初の業績予想数値である売上高 8,000 百万円に関しましては平成 16 年 2 月 6 日発表の「中期経営計画」追加情報（下記参考資料参照）に関するお知らせの中で発表させていただいた売上目標（7,000 百万円）に対し、積極的な店舗展開と既存店実績向上を目標として 1,000 百万円積み上げた経緯がありますので、中期経営計画についていえば、ほぼ達成できる予想となっております。

利益につきましては、売上未達成からくる影響が大であります。子会社の取得に関する諸経費、新ブランド設立における販管費の増大、事業規模の拡大による本社機能の拡張と大量の人材採用による経費増、M&A や海外進出を目的とした新株予約権付転換社債発行経費、中国進出に向けた経費負担増等、積極的な営業施策をおこなったことによる経費増が利益を圧迫し予想値を下回る結果となりました。しかしながら、今期、積極的に行った営業施策の結果が来期の利益に大きく寄与するものと考えております。

以上のことから、連結通期業績予想は、売上高は計画 8,000 百万円に対し実績 7,000 百万円（前期比 19.1%増）、経常利益は、計画 800 百万円に対し実績 410 百万円（前期比 37.3%減）純利益は、計画 440 百万円に対し実績 188 百万円（前期比 42.7%減）となる見込みであります。

参考資料 平成 16 年 2 月 6 日付発表「中期経営計画」追加情報のお知らせより抜粋

	2004 年 3 月期	2005 年 3 月期	2006 年 3 月期
売上高	5,500	7,000	8,500
経常利益	650	750	950
経常利益率	(11.8)	(10.7)	(11.2)
当期純利益	360	400	540

以上